

大高坂！

みなさまこんにちは。福山競馬場の公式ブログ「福山けいば編集部」です。

今回は3月12日に福山で開催した高知と福山の対抗戦「第1回大高坂賞」のレポートということで、こちらにレポートコラムを書かせて頂きました！

高知で開催した交流戦「久松城賞」のことを高知の姉さんに書いて貰ってたので、今回はその逆パターンです。こういう裏交流みたいなのが、あんまり気にとめてくれる人は少ないですが、やってるほうは楽しいのです(^^)

高知県知事賞の優勝馬キングサラディンを筆頭に5頭の高知所属馬を迎えて、地元福山の強豪5頭で迎え撃つ形のレース。結果は福山の大将格・クラマテングと嬉勝則騎手のコンビが、高知のイーグルビスティー＆赤岡修次騎手に2馬身の差をつけての逃げ切り勝ちでした。



好スタートから先手を奪って逃げたクラマテングは、並びかけていたフレアリングマリー、ダイワプリベールが向正面で脱落しても一向に足色衰えず。最終コーナーを回ると後続を突き放すばかりで、嬉騎手は直線途中で後ろを確認すると、後は流してゴールイン。最終コーナーで大外から追い込んだイーグルビスティーも猛追しましたが、前を捉えきることはできませんでした。





今回のタイトルは、これで重賞10勝目となったクラマテングにとって初めての交流重賞。高知のホーマンクラフトと大激戦を演じた2010年の金杯での2着がありますが、交流戦では結果を残せないレースが続いていたのです。というわけで、主戦騎手の嬉騎手もたぶん嬉しかったはず。ウイニングランを披露してくれておりました（＾＾



というか、すいません。せっかく高知競馬のHPに載せてもらうのだから高知の馬たちとジョッキーをもっと取材しとけばよかったのですが、力不足でそれが叶わず(>_<)いつものレースレポートになってしまった。



さて、レースの話はここまでなのですが、せっかくなのでもうちょっと書かせてください。当日は高知と福山の連携記念イベントということで、高知県特産品の販売会も行っておりました。

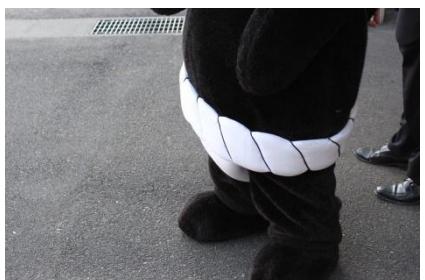


こちら福山ではなかなかお目にかかるないものもあって、お客様にも大人気でした！なにも知らずに高知名物「酒盜（辛口）」をスプーン一杯頬張って「うぎやあ！！」となつたことがあります、高知は面白い名物とか美味しい名物がたくさんあって良いですね(^_^) そういえば、高知といえば今大人気のこの方、カツオ人間も大高坂賞の応援に駆けつけてくれておりましたよ。



特産品の販売ブース、展望番組出演に表彰式とハードなスケジュールで大活躍！販売ブースで売られていたカツオ人間グッズも売り切れ続出だったそうです(^_^;) そういえば、以前福山にはチアズボニートという馬がいたのですが、名前の意味はカツオの「Bonito」なのでしょうか？チアズカツオ？？なんでカツオなんだ？？？

ちなみに、カツオ人間氏。好戦的な後頭部のフォルムで話題を呼んでいるみたいですが、福山けいば編集部は、氏の人気を支えるもうひとつの“あること”を発見しました。



どうでしょう、この挑発的なローライズ(▷_◁)素晴らしい。
極めて挑発的です。挑発的だと思います。

というわけで、「第1回大高坂賞」非常に良い感じで開催できました。高知競馬の人たち、高知の人たちはこんな楽しいことを作り上げるのがとても上手ですね。いつも感心させられています。

3月25日に福山で開催する「ファイナルグランプリ」では、再度高知から招待馬を迎えることになります。招待枠は1頭ですが、高知の総大将グランシュバリエを始め、タンゴ

ノセック、マルハチゲティと錚々たる顔ぶれがエントリーしておりますので、そちらの方も楽しみですね。

これからも交流の深まる高知と福山の両競馬場を、ぜひぜひお楽しみください！